

▼医療品を運ぶ災害救援バイク隊



▲茅ヶ崎市から
救援物資が到着

緊張感あふれる実践的な訓練

「富士市総合防災訓練」

9月1日「防災の日」の一日、東海地震を想定した総合防災訓練が行われました。会場型訓練の富士駅北地区を含め、290自主防災会、防災関係機関など約9万7,300人の市民が参加し、消火訓練や救出救助訓練などが行われました。

会場型訓練では、ことしの8月に災害ボランティアとして発足した富士市災害救援バイク隊の初出動や災害時相互応援協定を締結している神奈川県茅ヶ崎市からの救援物資の到着など、より実践的で緊張感あふれる訓練となりました。

9月のできごと

街のアルバム



9月13日 マリンプール写生大会



ひらめきと研究の成果

「富士市発明くふう展、小中学校科学作品展」

9月12日～13日 ロゼシアター展示室で、富士市発明くふう展と小中学校科学作品展があわせて開催され、家族連れなどでにぎわいました。発明くふう展には小学生から一般までの作品396点、小中学校科学作品展には小学生の作品320点、中学生の作品197点が出品されました。訪れた人たちは、感性が光るユニークな作品や科学的な研究の成果など、一つ一つを興味深く見ていました。

楽しく和気あいあい

「青葉台地区敬老会」

9月15日 敬老の日、長寿を祝う集いが市内各地区で行われました。このうちことし初めて敬老会を開いた青葉台地区では、約130人のお年寄りが参加しました。お祝いに駆けつけた市長が明るく楽しい長寿のお祝いを述べると、会場はより一層なごやかな雰囲気になりました。

式典の後は、手品や踊り、大正琴の演奏などが次々に披露され、「富士山」や「赤とんぼ」を全員で合唱するなど、楽しく和気あいあいとした一日となりました。



しあわせ実感！健康っていいね！

「'98健康まつり」

9月27日 保健女性センターで「'98健康まつり」が行われました。恒例の「赤ちゃんハイハイコンテスト」やバザー、健康コーナーなどは、ことしも大盛況。会場はたくさんの人でにぎわいました。

また、今注目されている環境ホルモン問題を取り上げた消費生活コーナーでは、ラップを燃やす実験やクイズを通してダイオキシンなどに対する認識を深めていました。